

乗用型水田除草機の除草効果（富岡町）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 除染後農地における水稲有機栽培の実証（富岡町）

担当者 三本菅猛、齋藤隆

I 新技術の解説

1 要旨

環境と共生する農業の取組みが進められており、旧避難指示区域でも有機栽培の取組みが始まっている。そこで、除染後農地（表土剥ぎ+客土）における有機栽培の取組みに向けて乗用型水田除草機を利用した除草効果を検証した。その結果、乗用型水田除草機の除草効果が確認できたことから、有機栽培での利用が期待される。

- （1）乗用型水田除草機は、株式会社オーレック製 WEED MAN SJ600 を使用した（図1）。
- （2）乗用型水田除草機による除草は、5月31日、6月10日、6月19日の3回実施し、回数を重ねる毎に雑草数が減少した（図2）。

2 期待される効果

- （1）乗用型水田除草機による除草を実施することで、雑草による稲の初期生育阻害を解消できる。

3 活用上の留意点

- （1）機械除草のみでは、株間に残草が発生するため、深水管理等他の除草技術と組み合わせる必要がある。
- （2）機械除草前に落水することが推奨されている。ただし、砂地の水田では水深2cm程度とする。
- （3）田植機と乗用型水田除草機の条数を揃えると作業がしやすい。

II 具体的データ等



図1 乗用型水田除草機
(株式会社オーレック製
WEED MAN SJ600)

※作業機が前方に配置されており、回転レーキで株間の雑草を除草し、除草ローターで条間の雑草を除草する。

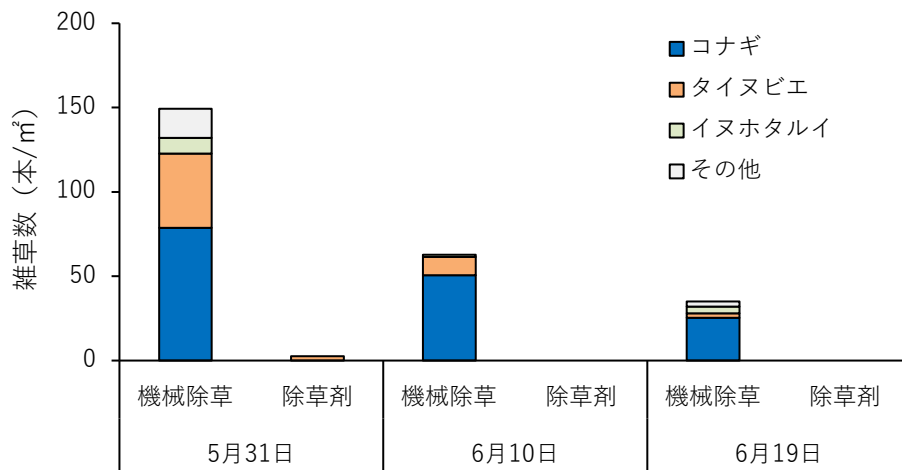


図2 機械除草区と除草剤区の機械除草前の雑草数の推移

III その他

1 執筆者

三本菅猛

2 実施期間

令和元年度

3 主な参考文献・資料

株式会社オーレック WEED MAN SJ600 取扱説明書